

Ⅱ 平成27年度健康資源・環境整備状況調査結果（飲食店）

1. 調査の概要

（1）調査目的

飲食店が取り組んでいる健康づくり関連項目について調査することにより、県民の健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料にするとともに、第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」等の各種計画の評価にも活用する。

（2）調査設計

- ① 調査実施主体 愛媛県
- ② 調査地域 愛媛県全域
- ③ 調査対象 飲食店（愛媛県料飲業生活衛生同業組合加盟店舗）
- ④ 標本数 1,243件
- ⑤ 調査方法 郵送による調査票の配布・回収（自計式）
- ⑥ 調査期間 平成27年9月
- ⑦ 調査内容 経営形態について
受動喫煙防止対策について
栄養成分表示等について

（3）回答結果

標本数	有効回答数	回答率
1,243件	356件	28.6%

（4）回答団体の特性

①経営形態

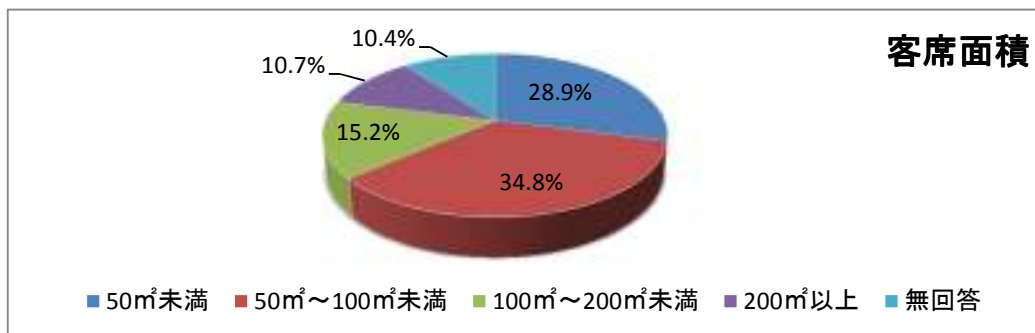
経営形態	対象数（件）	比率（%）
自営店	338	94.9
チェーン店	6	1.7
その他	12	3.4
無回答	0	0.0

②店舗形態

店舗形態	対象数（件）	比率（%）
一般食堂（定食屋、ファミリーレストラン）	57	16.0
その他の食堂（焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など）	20	5.6
日本料理店	45	12.6
西洋料理店	17	4.8
中華料理店（ラーメン店を含む）	12	3.4
そば・うどん店	16	4.5
すし店	11	3.1
喫茶店	24	6.7
ファーストフード店	1	0.3
料亭	4	1.1
バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	34	9.6
酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバーなど）	63	17.7
その他	49	13.8
無回答	3	0.8

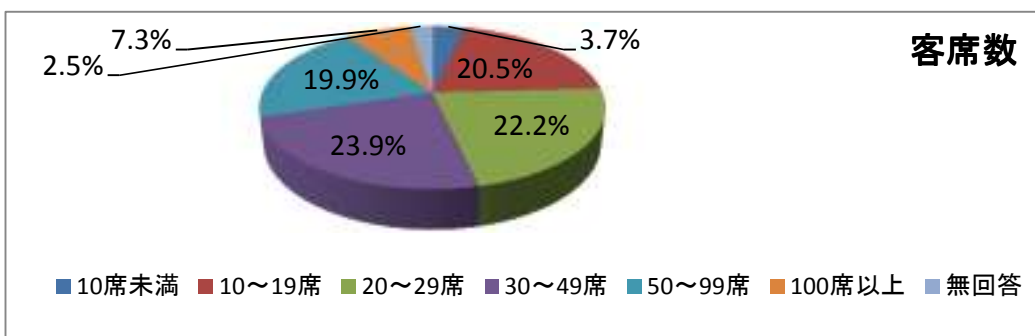
③客席面積

面積	対象数 (件)	比率 (%)
50㎡未満	103	28.9
50㎡～100㎡未満	124	34.8
100㎡～200㎡未満	54	15.2
200㎡以上	38	10.7
無回答	37	10.4



④客席数

客席数	対象数 (件)	比率 (%)
10席未満	13	3.7
10～19席	73	20.5
20～29席	79	22.2
30～49席	85	23.9
50～99席	71	19.9
100席以上	26	7.3
無回答	9	2.5



(5) 平成22年度・平成16年度調査との比較

年度	標本数	有効回答数	回答率
22年度	1,625件	492件	30.3%
16年度	1,882件	528件	28.1%

2. 調査結果

(1) 受動喫煙防止対策について

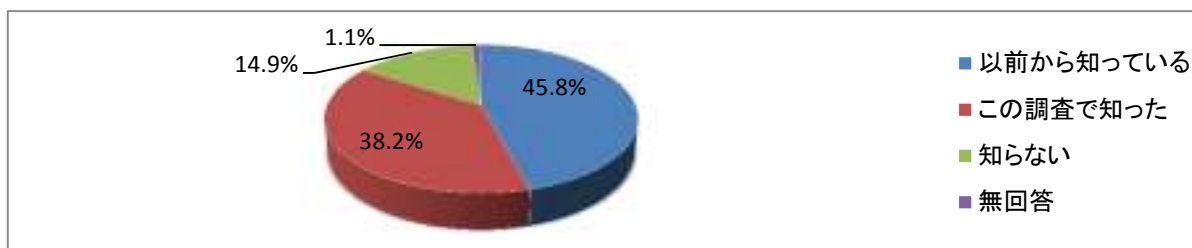
◆ 健康増進法第25条の受動喫煙防止努力義務の認知度

選択肢	平成27年度	
	回答数(件)	割合
以前から知っている	163	45.8%
この調査で知った	136	38.2%
知らない	53	14.9%
無回答	4	1.1%
合計	356	

選択肢	〈参考〉平成22年度	
	回答数(件)	割合
知っている	331	67.3%
知らない	154	31.3%
無回答	7	1.4%
合計	492	

健康増進法(抜粋)

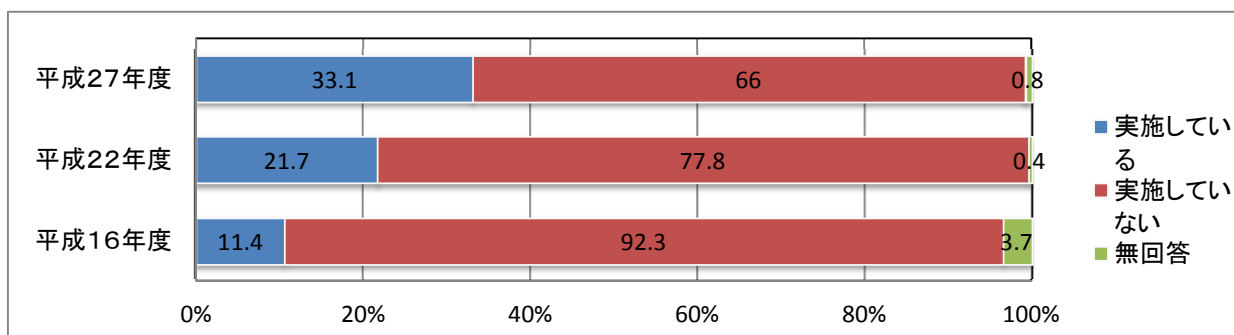
第25条 学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。)を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。



健康増進法第25条の努力義務について、「知っている」飲食店は45.8%となっている。前回(平成22年度)調査より、「知っている」割合は減少している。

◆ 禁煙・分煙の対策の実施状況

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
実施している	118	33.1%	107	21.7%	56	11.4%
実施していない	235	66.0%	383	77.8%	454	92.3%
無回答	3	0.8%	2	0.4%	18	3.7%
合計	356		492		492	



喫煙対策を実施(全面禁煙又は分煙)している飲食店は33.1%となっており、平成22年度、平成16年度調査と比べ徐々に増加している。

◆ 禁煙・分煙の対策の方法

(「禁煙対策を実施している(全面禁煙又は分煙)」と回答した飲食店が対象)

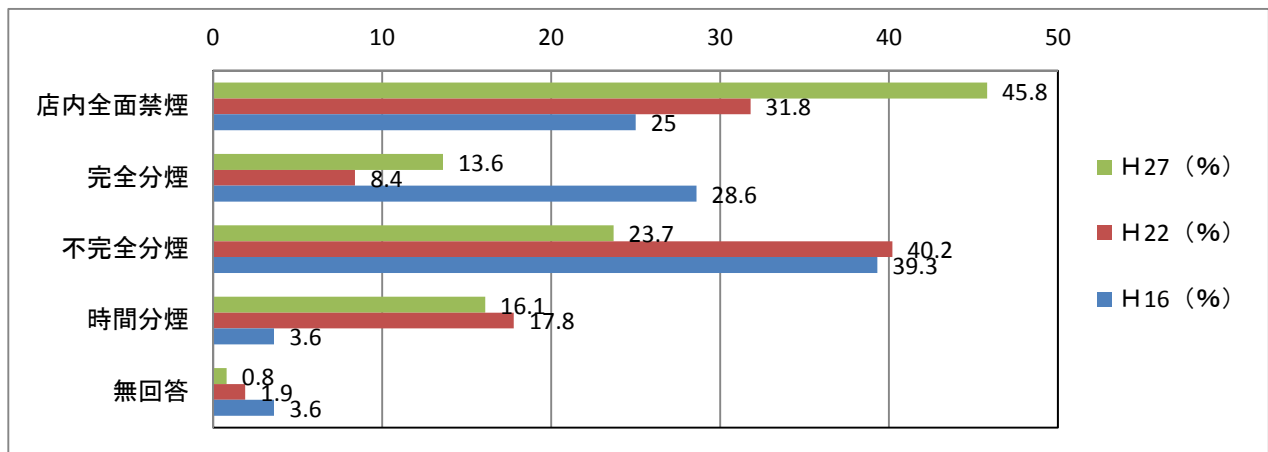
選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度		
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	
店内全面禁煙 ※1	54	45.8%	34	31.8%	14	25.0%	
分煙	完全分煙 ※2	16	13.6%	9	8.4%	16	28.6%
	不完全分煙 ※3	28	23.7%	43	40.2%	22	39.3%
	時間分煙 ※4	19	16.1%	19	17.8%	2	3.6%
無回答	1	0.8%	2	1.9%	2	3.6%	
合計	118		107		56		

※1 店内全面禁煙:屋外は喫煙可。

※2 完全分煙:喫煙席と禁煙席を壁・部屋等で仕切っており、禁煙席に煙が流れない。

※3 不完全分煙:喫煙席と禁煙席を分けているが、禁煙席に煙が流れる。

※4 時間分煙:時間で禁煙を行っている。



禁煙対策を実施している飲食店の状況について、「店内全面禁煙」が45.8%であり、平成22年度、平成16年度調査と比べて増加している。また完全分煙、時間分煙についても増加傾向にあった。

◆ 禁煙・分煙の対策を実施した理由・きっかけ

(「禁煙対策を実施している(全面禁煙又は分煙)」と回答した飲食店が対象(複数回答))

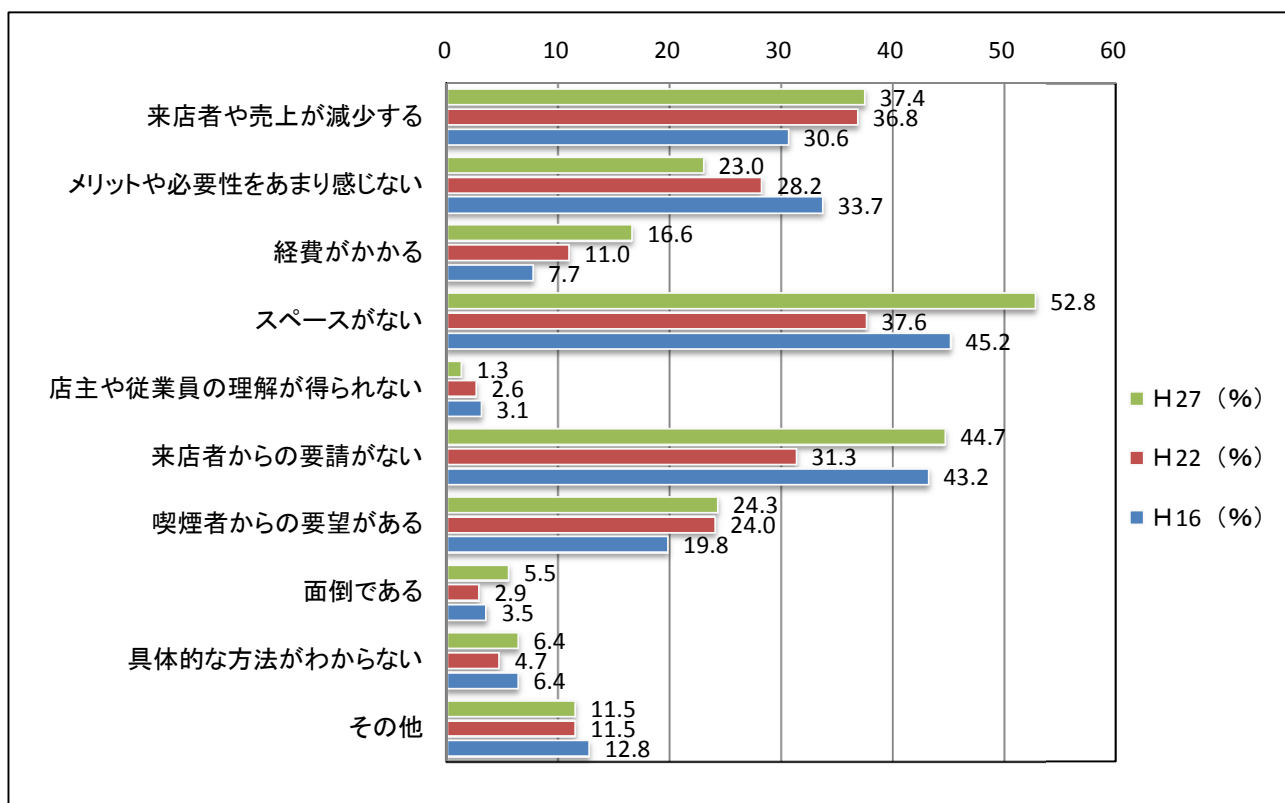
選択肢	平成27年度	
	回答数(件)	割合
来店者や売上が増加すると思ったため	5	4.2%
来店者からの要望や苦情があったため	45	38.1%
受動喫煙による健康への影響を防ぐため	61	51.7%
健康増進法の施行により、受動喫煙防止対策が努力義務となったため	17	14.4%
喫煙者にも非喫煙者にも利用してほしいため	46	39.0%
店をアピールするため	3	2.5%
料理や飲み物の味や香りを楽しんでもらうため	43	36.4%
所属する企業やチェーン本部の方針のため	2	1.7%
入居しているビルの方針のため	3	2.5%
特に理由やきっかけはない	5	4.2%
その他	10	8.5%

喫煙対策を実施したきっかけについては、「受動喫煙による健康への影響を防ぐため」が51.7%と最も多くなっている。以下「喫煙者にも非喫煙者にも利用してほしい」「来店者からの要望や苦情があった」「料理や飲み物の味や香りを楽しんでもらう」などが多かった。

◆ 禁煙・分煙の対策を実施していない理由

(「禁煙や分煙の対策をしていない」と回答した飲食店が対象(複数回答))

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
来店者や売上が減少する	88	37.4%	141	36.8%	139	30.6%
メリットや必要性をあまり感じない	54	23.0%	108	28.2%	153	33.7%
経費がかかる	39	16.6%	42	11.0%	35	7.7%
スペースがない	124	52.8%	144	37.6%	205	45.2%
店主や従業員の理解が得られない	3	1.3%	10	2.6%	14	3.1%
来店者からの要請がない	105	44.7%	120	31.3%	196	43.2%
喫煙者からの要望がある	57	24.3%	92	24.0%	90	19.8%
面倒である	13	5.5%	11	2.9%	16	3.5%
具体的な方法がわからない	15	6.4%	18	4.7%	29	6.4%
その他	27	11.5%	44	11.5%	58	12.8%



禁煙対策を実施していない理由としては、「スペースがない」が最も多く、「来店者からの要請がない」「来店者や売上が減少する」と続いている。

◆ 今後の禁煙対策の予定

(「禁煙や分煙の対策をしていない」と回答した飲食店が対象)

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
予定がある	1	0.4%	1	0.3%	3	0.7%
検討する	63	26.8%	97	25.3%	115	25.3%
予定がない	169	71.9%	277	72.3%	324	71.4%
無回答	2	0.9%	8	2.1%	12	2.6%
合計	235		383		454	

今後の禁煙対策の実施予定について、「予定はない」が71.9%で、平成22年度、平成16年度と同様に最も多い。

(2) 栄養成分表示等について

◆ メニューの栄養成分表示の実施状況

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
ある	10	2.8%	14	2.8%	11	2.1%
ない	339	95.2%	463	94.1%	500	94.7%
無回答	7	2.0%	15	3.0%	17	3.2%
合 計	356		492		528	

メニューの栄養成分表示が「ある」と回答した飲食店は2.8%と低く、平成22年度、平成16年度調査と比べて横ばいとなっている。

◆ メニューの栄養成分表示の内容

(「栄養成分表示をしているメニューがある」と回答した飲食店が対象(複数回答))

選択肢	平成27年度	平成22年度	平成16年度
	回答数(件)	回答数(件)	回答数(件)
エネルギー	7	9	10
たんぱく質	5	1	3
脂質	7	6	6
塩分	7	7	5
その他	0	2	0

メニューの栄養成分表示の内容について、平成22年度、平成16年度と比べてたんぱく質の表示が増加した。

◆ メニューの栄養成分表示の予定

(「栄養成分表示をしているメニューがない」と回答した飲食店が対象)

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
ある	8	2.4%	25	5.4%	31	6.0%
ない	326	96.2%	425	91.8%	461	89.2%
無回答	5	1.5%	13	2.8%	25	4.8%
合 計	339		463		517	

メニューに「栄養成分表示をする予定がある」と回答した飲食店は、2.4%であり、平成22年度、平成16年度調査より低くなっている。

◆ メニューの栄養成分表示の予定

(「栄養成分表示をしているメニューがない」かつ「今後、栄養成分表示をする予定がない」と回答した飲食店が対象(複数回答))

※平成22、16年度の設問は若干異なる。

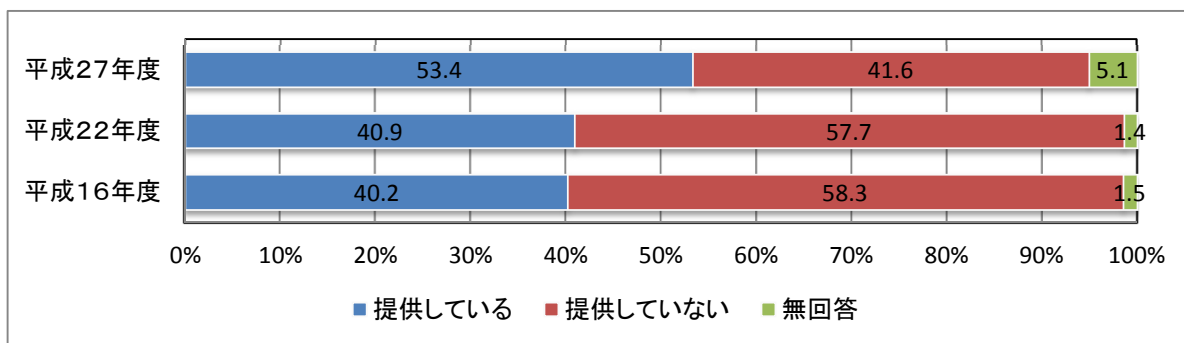
選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
表示するメリットや必要性をあまり感じない	181	55.5%	224	52.7%	301	84.6%
栄養成分を表示しても、来店者や売上が増加しない	77	23.6%	81	19.1%	61	17.1%
面倒である	85	26.1%	93	21.9%	76	21.3%
表示の方法が分からない	109	33.4%	131	30.8%	170	47.8%
その他	47	14.4%	50	11.8%	50	14.0%

今後も栄養成分表示をしない理由について、「表示するメリットや必要性をあまり感じない」が55.5%と最も多く、「表示の方法が分からない」が続いている。

◆ 健康に配慮した料理の提供状況

※平成22、16年度の調査では「健康に配慮した料理の提供」を「ヘルシーメニューの提供」として質問

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
提供している	190	53.4%	201	40.9%	212	40.2%
提供していない	148	41.6%	284	57.7%	308	58.3%
無回答	18	5.1%	7	1.4%	8	1.5%
合計	356		492		528	

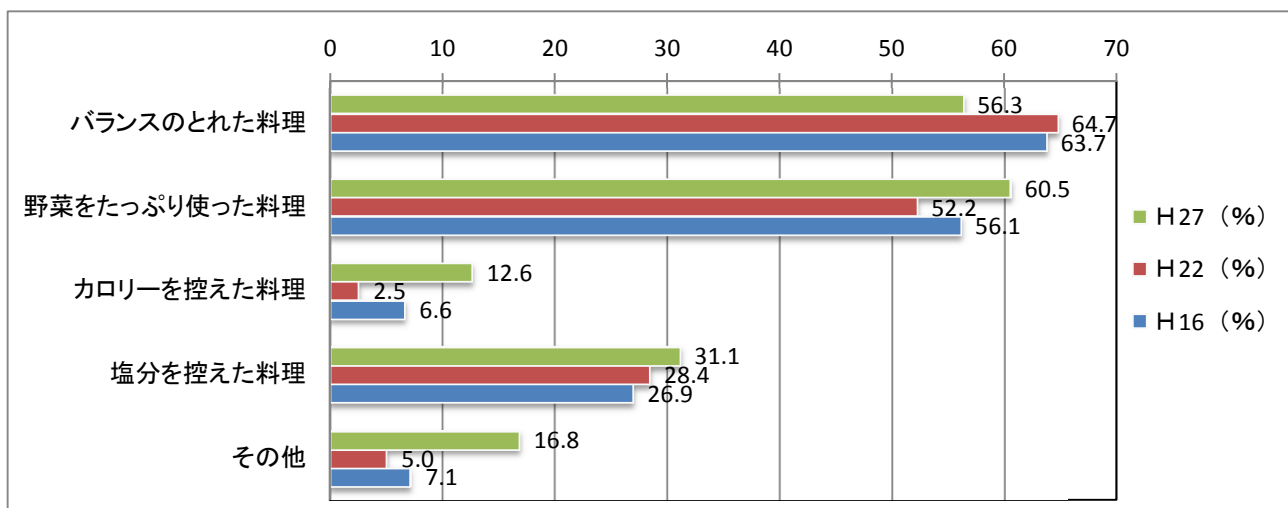


健康に配慮した料理の提供について、「提供している」が53.4%であり、平成22、16年度調査と比べて増加している。

◆ 健康に配慮した料理の内容

(「健康に配慮した料理を提供している」と回答した飲食店が対象(複数回答))

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
バランスのとれた料理	107	56.3%	130	64.7%	135	63.7%
野菜をたっぷり使った料理	115	60.5%	105	52.2%	119	56.1%
カロリーを控えた料理	24	12.6%	5	2.5%	14	6.6%
塩分を控えた料理	59	31.1%	57	28.4%	57	26.9%
その他	32	16.8%	10	5.0%	15	7.1%

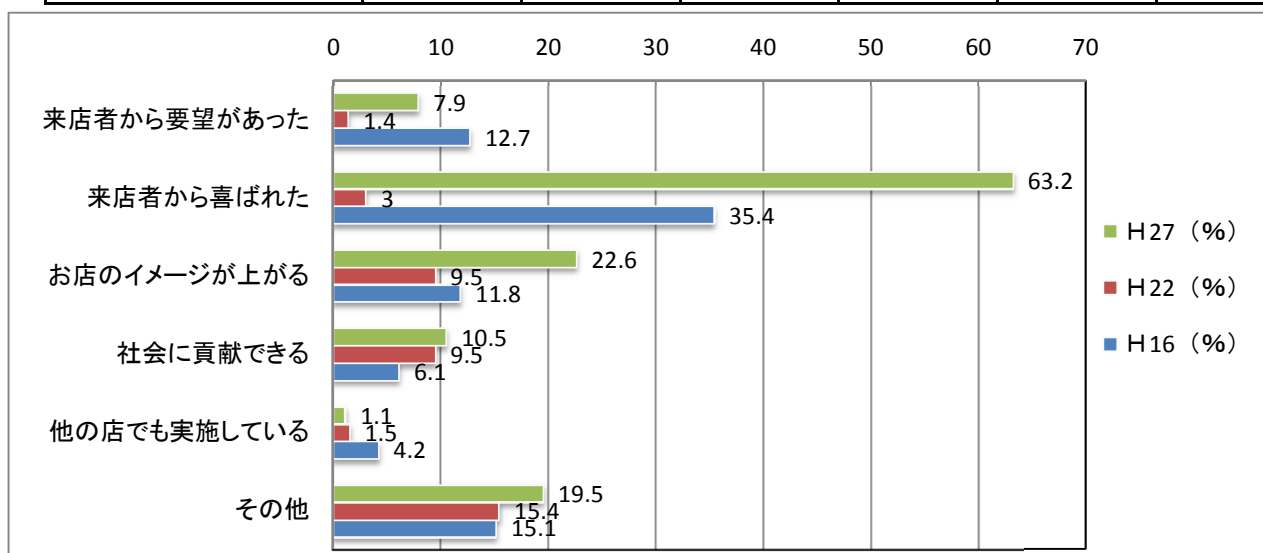


健康に配慮した料理の内容について、「野菜をたっぷり使った料理」が60.5%、「バランスのとれた料理」が56.3%となっている。
平成22年度、平成16年度調査と比べると「野菜をたっぷり使った料理」「塩分を控えた料理」「カロリーを控えた料理」が増加している。

◆ 健康に配慮した料理を提供している理由

(「健康に配慮した料理を提供している」と回答した飲食店が対象(複数回答))

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
来店者から要望があった	15	7.9%	23	11.4%	27	12.7%
来店者から喜ばれた	120	63.2%	6	3.0%	75	35.4%
お店のイメージが上がる	43	22.6%	19	9.5%	25	11.8%
社会に貢献できる	20	10.5%	19	9.5%	13	6.1%
消費者ニーズを感じた	90	47.4%	65	32.3%	80	37.7%
他の店でも実施している	2	1.1%	3	1.5%	9	4.2%
その他	37	19.5%	31	15.4%	32	15.1%



健康に配慮した料理を提供している理由について、「来店者から喜ばれた」が63.2%、「消費者ニーズを感じた」が47.4%となっている。

平成22年度、平成16年度調査と比べて、「来店者から喜ばれた」「消費者ニーズを感じた」「お店のイメージがあがる」が増加した。

◆ 健康に配慮した料理の提供の予定

(「健康に配慮した料理を提供していない」と回答した飲食店が対象)

選択肢	平成27年度		平成22年度		平成16年度	
	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合	回答数(件)	割合
ある	12	8.1%	11	3.9%	21	6.5%
ない	56	37.8%	161	56.7%	187	58.3%
わからない	80	54.1%	108	38.0%	101	31.5%
無回答	0	0.0%	4	1.4%	12	3.7%
合計	148		284		321	

